

AREC・Fi i プラザ 第 190 回リレー講演会（電気・ICT 分野）

■日時：平成 29 年 5 月 18 日（木） 14:00～17:00

※終了後（17:00～）名刺交換交流会開催

■会場：信州大学繊維学部内 AREC（上田市産学官連携施設 4 階）

■主催：一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）
東信州次世代産業振興協議会

講演 1

14:00～15:00

【演題】「IoT と M2M Gateway の関わり」

講師：株式会社カウベルエンジニアリング 営業部 課長 臼田 克也 氏

【概要】 昨今、IoT（Internet of Things）という言葉が大きな注目を集めるようになりました。

IDC Japan によれば、日本国内の IoT 市場だけで、6 兆 2232 億円（2015 年）にもなり、さらに 2020 年には 13 兆 7595 億円まで拡大するとの見通しもあります。「アナログな企業だから」「IT すら上手く活用できていない」と、IoT とは無縁だと思っている企業や業界も含め、今後 IoT によって劇的に変化していくと考えられるのです。そこで、弊社が提供・提案する【M2M Gateway】がどんな場所で、どんな事が出来るのかをご紹介します。

講演 2

15:00～16:00

【演題】「iIoT（製造業の IoT）事例紹介」

講師：一般財団法人塩尻市振興公社 塩尻インキュベーションプラザ(SIP)

工業振興(ICT)コーディネーター 横澤 幸男 氏

【概要】 塩尻市振興公社では、ICT（情報通信技術）初心者でも取り扱えて、且つ廉価な工作機械稼働状態モニタリング方法を提案し、市内中小製造業の工場にてトライアル（実証試験）を行なっています。ついては、その内容・結果を多くの皆様に知っていただき、応用していただくためにご報告します。

講演 3

16:00～17:00

【演題】「電気エネルギーの高効率利用を目指したパワーエレクトロニクスと パワーマグネティックスの協創」

講師：信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授 佐藤 敏郎 氏

【概要】 ワイドバンドギャップ SiC/GaN パワー半導体デバイスをコア技術として、電気エネルギーの効率的な利用を目指した次世代パワーエレクトロニクス技術開発に関する複数の国家プロジェクトが推進されています。SiC/GaN パワー半導体デバイスの特徴を活かしてパワーエレクトロニクス機器の高効率化や小型軽量化を実現するには、電力変換回路に欠かせないリアクトルやトランスなどの高周波電力用磁気部品に対しても高周波低損失・高耐熱な新しい磁性材料の開発が必要です。本講演では、JST 京都スーパークラスターや NEDO のプロジェクトで取り組んでいる MHz 帯電力変換用リアクトル/トランスの研究開発と SiC/GaN パワーエレクトロニクスへの適用事例を紹介します。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377)

メール (mousikomi@arecplaza.jp) FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

AREC・Fi i プラザ 第 190 回リレー講演会 参加申込書		(平成 29 年 5 月 18 日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	Fax 番号		

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません